

# らぶ

愛媛県立宇和特別支援学校（知的障がい部門） 人権・同和教育課

今年度、人権・同和教育課で行った主な取組について報告いたします。

## 【PTA人権・同和教育研修会】



9月9日（金）に人権・同和教育を主題とした授業の参観及び講演会を行いました。講演会では「人が人らしく生きるために ～あっ そうか！人権」の演題で、愛媛県人権啓発指導員の友田義一先生にお話をいただきました。

同和差別問題のみならず、児童虐待やセクシャルハラスメント、性的少数者の差別など身近にある様々な人権問題を取り上げ、思い込みを払拭し問題に気付くこと、多様性を認めることの大切さなどを熱く語られました。自分の気付かないうちに差別的な言動をとっていないか振り返り、様々な問題に関心を持って向き合っていかなければならないことを再認識する機会となりました。

### 《保護者の方の感想》

- ・子供の頃から人権・同和教育は受けていましたが、今回久々に講演を受け、平日頃より一人一人の意識ある言動が大切だと思いました。
- ・人権について改めて考えさせられました。これまで子供は障がい児として、様々なことに配慮してもらってきました。当たり前権利と考えず、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思いました。
- ・講師の友田先生の熱い思いが伝わってきた。障がいのある子・人は人権侵害されても気付くにくかったり、気付いても異議申し立てたりすることが難しい。障がいのある子供を守るために親として、社会の中のささいなことでも「おかしい」と気づき、気付いたら発言し行動することが大切であると思った。
- ・人権・同和教育という難しいと思い、避けて通ってしまっていたが、新聞記事等の資料を見ながらのお話は分かりやすく、まだまだ訴えていき解決していかなければならない問題がたくさんあるのだと理解できました。



## 【お話会】

10月のお話会では、人権・同和教育に視点を当てて実施しました。

絵本『となりのせきのますだくん』では、「みほちゃん」の視点で物語が描かれます。みほちゃんは、隣の席に座っている「ますだくん」に、毎日いろんないじわるをされるので学校に行きたくありません。好きな女の子にちょっかいを出してしまう男の子の心理、隣の席の男の子が怪獣に見えてしまう女の子の心理が、実によく感じられます。しかし、最初怪獣に見えていたますだくんが、最後のページだけ、怪獣の姿ではなく人間

の男の子の姿で描かれています。「ごめんね。」と言って、鉛筆を直して渡してくれたますだくんへの見方が変わったということであり、これはみほちゃんにとって、ますだくんが怪獣ではなくなったことを表現しています。子どもの頃の気持ちを思い出させてくれ、読んだ後、心に温かいものが残ります。お子さんと一緒に、みほちゃんやますだ君の気持ちに共感しながら、是非読んでみてはいかがでしょうか。読んだ後には、とってもほっこりとした気持ちになれる一冊です。



【人権ポスター・標語 等】

平成28年度人権尊重の意識を高めるためのポスター

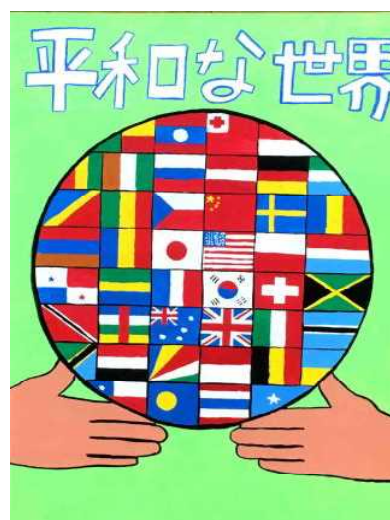
〈入選〉

「みんな仲良く生きよう!そしてしあわせに!」



中学部3年 大森 海宝

「平和な世界」



高等部1年 菊池 紗弥香

平成28年度西予市人権作品集「かがやき」 掲載作品

「作文」 高等部3年 田中明日香 「障がいがあるけれど」

「標語」 中学部1年 白石 一真 「みんなと つなごう やさしい手」  
 高等部1年 後藤 龍斗 「また明日 友達の声 うれしそう」  
 高等部2年 大嘉田裕太 「ありがとう 優しい気持ちを おすそわけ」  
 高等部3年 吉見 勇紀 「僕のあいさつ みんなの元気に」

「ポスター」 訪問教育高等部2年 柴田美咲妃 「うれしいね 心が伝わる 思いやり」  
 高等部3年 松原 幸子 「一人一人が輝く 世界を作ろう」

「習字」 中学部1年 赤松 大雅 「友情」  
 高等部3年 藤原 雅哉 「平和」  
 高等部3年 二宮 達哉 「文化」



\*心温まる数多くの作品の応募がありました。御協力ありがとうございました。